



# R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2012～2013 年度 高山中央 RC 会長テーマ  
「質素な運営 豊かな奉仕」

◆会長 足立 常孝 ◆幹事 田中 雅昭 ◆会報委員長 坂家 賢司 ◆会報担当 黒地 重雄

創立 1991 年 5 月 20 日

- ◇事務局 高山市花岡町 1-15 丸越商事 4F  
TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488
- ◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600
- ◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～
- ◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 948 回	51 名	51 名	42 名	—	82.35%
前々回 946 回	51 名	51 名	41 名	5 名	90.20%

<点 鐘> 会長 足立 常孝  
<ロータリーソング> それでこそロータリー

<会長の時間> 会長 足立 常孝

本日は、年次総会と未来委員会担当の例会です。中田 学委員長宜しくお願ひ致します。

私は、酒が飲めませんが、食欲は旺盛で、特に麺類は大好物です。

今日は、麺類の中でも、うどんの話をしていただきます。

日本の 3 大うどんをご存知でしょうか？

- ①生産量も知名度共に、No.1 は香川県の讃岐うどんです。
- ②生産量では、群馬県の伊香保町の水沢うどんだそうです。
- ③秋田県の稲庭うどんです。

讃岐うどんの特徴は、太くて硬い麺。

水沢うどんは、太からず、細からず、硬からずの群馬のうどんです。大消費地の関東圏にある事が第二位の理由かも知れません。

稲庭うどんは、素麺に近いほど細いが、腰があって歯ごたえが良い。

さて、高山にも丸亀製麺が来年の 6 月に outlets します。低価格で大人数で豊富な品数で短時間に客をさばく。既存の市内のうどん屋さん、外食店舗もさらなる競争が激化します。



歴史のある飲食店が、生き残る陰には、地味であるが大変な努力を繰り返され続けていると思われる。飛騨中華そば、日本そば、うどん、麵食いの私は何でも食べますが、最近知った事は、麺は炭水化物で食べやすい。噛まずに食べる。つつい食べ過ぎる。デブがデブになりやすい食べ物である事です。

◎早食い⇒食べ過ぎ⇒肥満⇒糖尿病⇒動脈硬化

◎租借をしっかりとる⇒食べ過ぎない⇒太らない⇒健康

◎煙草と一緒に「判っているけど、やめられない」良く噛む事も食事中は無心で忘れてしまいます。

<幹事報告> 幹事 田中 雅昭

◎R I 本部より

- ・ザ・ロータリーアン誌

◎国際ロータリー第 2520 地区ガバナーより

- ・「仙台空港をバナーで埋め尽くし被害者を見守る」  
「仙台空港にモニュメントを建立する」プロジェクトの支援のお願い

<比国育英会バギオ基金会長より>

- ・2011 年度事業報告書の送付と基金への寄付のお願い

年次総会 次年度理事役員が承認されました。

<本日のプログラム>

高山中央未来委員会

委員長 中田 学

今日は高山中央未来委員会担当例会です。今日の内容は、未来委員会の活動報告、その後、クラブ奉仕委員会の「高山中央 RC を考える会」の活動報告です。未来を考えるには、今を考える必要がある、今を考えるには、将来のビジョンが必要、密接に関わっていくであろう 2 つの委員会の報告を聴いて頂きそれぞれに高山中央 RC の未来を考えイメージして頂ければ幸いに思います。

まず、未来委員会の報告を致します。9 月 3 日の担当例会で足立会長から高山中央未来委員会設立の意義考えについてお話頂きました。ロータリーは単年度制で年度の会長が会長の想いの中で事業に取り組み、一年間期限付きで情熱とエネルギーきっちり注ぎ込み積み重ねで変化しながら歴史を紡いできました。しかし、現在はそういう事だけで捉えられない状況もあります。戦略的に少し長い (3～5 年) スパンで、近い未来を考える必要があるのではないかと思います。

剣田さんからお話を頂いた中で、「ロータリーそのものは奉仕団体でなく、奉仕する人を育てる団体で例会は卓話を基本とする。そして、長期継続事業を考えたり、長期のクラブ運営を考える必要がある。その為には、DLP や CLP など長期計画の導入が必要である」と。そして、アンケ

ートを取らせて頂いた結果を集約してみました。

<設問 3 >

- ◎未来のイメージは？ 3～5年後・10年後
- ・クラブは3でなく、1つになっている若い世代が充分に活躍している
  - ・地域にとって必要な団体・必要とされている団体になっている
  - ・1つの問題を（例えば青少年問題）特化して当クラブの特色をしっかりと出して活動している
- ◎イメージ実現の為今必要なことは？
- ・次世代の会員を増やす。今の雰囲気をつなげる。
  - ・「奉仕」各人がそれぞれ出来る事を考える。
  - ・会員の資質の向上・理念・歴史・RCについて考える事。若い次世代のリーダーの育成をする。エキスパートの養成。
- ◎現状でのクラブの要望は？
- ・地域へのPRを考え実践する。（それがどんな事なのか）
  - ・RCは一業種一名が基本で多業種の団体であるので、それならでは活動をする。
- （例えば「出前講座」→継続→地域連携

10月24日委員会を開催しました。「未来」を考える。その具体的な手法～

CLP（長期計画を策定し組織を変える）はRIの考えの提案で、全く拒否することはできない。折り合いを付けて取りあえず導入してみてもどうか。

当クラブは、今のままで全くうまく機能しているが、長期的にクラブ運営を考える意識づけをすることが出来る。一部導入と言う事ではどうか。これまで日本が大切にしてきた「職業奉仕」から、大きな長期計画としては『高山中央RCは職業奉仕に徹する』とし、これを受けて何をするかは各自考え実践していくではどうか。組織を（委員会構成）を考える。①職業奉仕を独立し大切に守る。②クラブ委員会運営の中に「未来委員会」を置き事業計画を長期的（3～5・10年）に視野に入れ意識づけする。このような提案させて頂きました。この提案を受けて、10月29日臨時総会を開き「高山中央ロータリークラブ・細則」を変更しました。後は来期以降、「高山中央に合わせた器、器に合わせた中身」をどうあるかを考えて、一步を踏み出したいと思います。



以上のようなことで私として今思うことは、これまでの話のように一步踏み出しました。形は変わってもこれまで当クラブがやって来た事、これからやって行く事が大きく変わるとは思いません。

というも、単年度の中で年度年度、都度都度、時代に応じて変化しながら今日があります。白明の理です。これからは、これに加え、各委員会、各人が数年度、数10年度後どうあるべきかと言う長期的な視点で、考えを事業方針や計画に組み入れることを検討して頂きたいと思います。

## 「高山中央ロータリーを考える会」報告 クラブ奉仕委員会 委員長 永家 将嗣

「高山中央ロータリーを考える会」は次年度・次々年度のクラブをどういう方向に持って行けばいいのかを考える上で、皆さんにご意見を頂きそれを参考にさせて頂くために行いました。（3回予定）

会議のまとめとして

強み

- ① まとまりがあり雰囲気が良い これはサークルが充実しているし、懇親会などの親睦を行っていることが大きな要因。 岐阜加納 RC の例（会場がグランパール岐山 柳ヶ瀬に近いので例会が終了してから懇親会に行く 第一例会は乾杯）
- ② 30代～70代と年齢構成のバランスが取れているし、年配の人からの強制がない。

弱み

- ① 高山中央ロータリーとしての存在感が薄い（継続事業をおこない高山中央 RC の色を出す 事業をメディアに流す）
- ② ロータリアンとしての認識が低い（うちだけではない、ロータリー以外でもロータリーバッジを付けていくなどの意識を持つ・・・加賀ガバナーエレクト）

事業は継続しながら小さいことから積み上げて育てていく。

モチベーションを維持するためにもサークルを作る。

今後ロータリーは大きく変わっていき、一つ一つのクラブに特徴があってユニークなクラブであることが求められます。

田中作次 RI 会長が所信表明された時の言葉の中に

「仕方がない」・・・これはもう手の打ちどころがない、何も出来ないという意味

「私次第」・・・自分次第で物事が決まる つまり目標を得

てそれを達成できるかどうかは私たち次第です。という言葉がありました。

今後 高山中央 RC は会員一人一人が「仕方がない」とらえるか「私達次第」とらえるか

によって大きく結果が違ってきます。



<ニコニコBOX>

昨日は丹生川文化ホールへ「乗鞍を考える」勉強会に参加して来ました。西高校の生徒の皆さんの発表内容に若い人の考え方や元気にびっくり感動させて頂いた一日でした。

足立 常孝

先週は32回目の結婚記念日にお祝いを頂きありがとうございます。

水川 巧

家内の誕生日に花をありがとうございました。歳を重ねると女房への感謝とお詫びの気持ちが強くなり、最近は誕生日にその想いを大きく伝えるようにして（させられて）います。その意味でこの花は本来の美しさとプレゼントに花を添えるという2つの意味でありありがとうございます。

中田 専太郎

本日早退させて頂きます。すみません。

永田 富次 岡崎 壮男